

## ○発達科学部カリキュラム・ポリシー

発達科学部では、本学部の「教育目標」及び「学位授与に関する方針（ディプロマ・ポリシー）」に基づき、以下の方針のもとに体系的なカリキュラムを編成する。

1. 乳幼児期から高齢期に至るまでの人間の発達及びそれを取り巻く環境について様々な側面から教育研究する本学部の目的を実現するために、これまでの学問研究の成果を踏まえ、かつ発達と環境に関わる諸課題に対する学際的視点から、学部を4学科、13履修コース(学科共通の発達支援論コースを含む)に分けて、学生をいずれかのコースに所属させ、少人数による教育を行う。

2. 人間の発達及びそれを取り巻く環境に関する専門的知見は、それぞれの学問分野における高度に専門的内容を深めると同時に、分野横断的に学んでいくことで修得されるものである。そのため、本学部では、学部共通科目ならびに学科共通科目を開設して、それぞれの問題領域を考えていく基礎となる知識と専門的な知識とを有機的に結びつけた体系的なカリキュラムを編成する。

3. 人間の発達及びそれを取り巻く環境をめぐる現代的な問題は、これまでの学問分野における基礎的方法論をしっかりと身につけた上で、それぞれの問題をとらえ直す共同的な営みによって解決の糸口が得られる。こうした問題解決能力を養うために、本学部では、それぞれの学問分野の基礎的方法論や技能・技術を修得させるとともに、教員と学生ならびに学生同士の対話に基づいた教育活動や、卒業研究に向けた丁寧な指導体制を用意する。

4. 以上のような観点に留意して、教育課程を編成・実施することで、専門的知識と問題解決能力をそなえた自律的な人材を養成する。

## ○ 学科別 カリキュラム・ポリシー

### ・人間形成学科

1. 人間の誕生から高齢期に至るころ及び諸能力の発達並びに人間形成に関わる諸要因について、社会的及び文化的な観点から教育研究を行う本学科の目的を実現するために、心理発達論、子ども発達論、教育科学論、学校教育論の各コースに学生を所属させ、各教員の特性を活かした少人数教育を重視しつつ、専門領域に関する知識を体系的かつ深く修得できるようなカリキュラムを準備する。

2. 人間の形成について、個別専門領域のみにとどまることのない包括的な知識を修得させるために、学部共通科目と関連させながら、あるいはその基礎の上に学科共通科目を開設して、心理発達、子ども発達、教育科学、学校教育に関する基盤的科目を学科所属の学生全員に履修させる。そのことによって、人間形成に関わる諸学問を有機的に結びつけ

つ、学際的な課題意識、接近方法、専門知識等の修得を目指す。

3. 人間の形成をめぐる現代的諸課題に対する問題解決能力を養うために、各専門領域における調査手法・研究方法等について、基礎的段階から応用的発展的段階へと円滑に学ぶことができる綿密かつ体系的なカリキュラムを準備する。これらの科目においては、学問における共同的な営みの重要性に鑑み、教員と学生ならびに学生同士の対話に基づいた教育活動や、卒業研究に向けた丁寧な指導体制を用意する。

4. 以上のような観点に留意して、教育課程を編成・実施することで、こころ及び諸能力の発達、人間形成の社会的文化的要因に関する専門的知識と問題解決能力をそなえた自律した人材を養成する。

### ・人間行動学科

1. 人間の行動と発達について、自然科学及び人文・社会科学の面から総合的に教育研究を行うという本学科の目的を実現するために、人間行動に関する諸科学の体系に従って広範な知識を授けるとともに、健康発達論コース、行動発達論コース、身体行動論コースの3つの履修コースを設定し、学生をいずれかのコースに所属させ、少人数による教育を行う。

2. 人間の行動は複雑かつ高度化し、基礎となる諸学問分野において高度に専門的知識を深めると同時に、分野横断的に人間行動を学んでいくことが不可欠である。そのため、本学科では、人間行動に関する学際的な知識を涵養する学科共通科目を開設するとともに、各コースの専門科目に他コースの科目を共有することにより、それぞれの問題領域を考えていく基礎となる知識と専門的かつ学際的な知識を有機的に結びつけた体系的なカリキュラムを用意する。

3. 人間行動に関する現代的な問題は、これまでの学問分野における専門的知識をしっかりと身につけ、さらにそれぞれの問題をとらえ直す実践的な営みによって解決の糸口が得られる。こうした専門的知識と実践的な問題解決能力を養うために、本学科の各コースでは、専門的知識の修得にいくつかの学習目標を設定するとともに、問題解決能力の育成においては、研究能力と実践的能力の修得を目指すカリキュラム体系を導入する。

4. 以上のような観点に留意し、さらに教員と学生ならびに学生同士の対話に基づいた教育活動や、卒業研究に向けた丁寧な指導体制を用意することで、専門的知識と問題解決能力をそなえた自律した人材を養成する。

### ・人間表現学科

1. 私たち人間は、長い歴史にわたって、その時々々の環境のもとで様々な表現を行い、その時代に固有の文化を生み出してきた。とりわけ、音楽や造形、舞踊といった文化的形態での創造的表現は極めて人間的な行為であり、人間の発達や変容にとって欠かすことのできない重要な営みである。人間表現学科では、こういった人間の創造表現の本質を、表現に関わる文化や創造実践、またそれらの基盤となる感性といった多様な視点から総合的・学際的に探究する。

2. 学生は、1年次から、人間の創造表現に関する概論を中心とする第1群（文化・芸術に関する横断的科目）をバランスよく履修し、人間の表現に関わる問題群へアプローチするためのさまざまな考え方や方法を多面的に学ぶ。こうした一連の学習を通じて学ぶ方向性を見定めながら、2年次からは第2群（文化・芸術に関する専門的科目）の履修を通じて、人間の表現に関わるより専門的な課題に対する洞察を深めていく。このように、人間表現学科では、人間の創造表現の本質に関して、多様な視点による総合的かつ柔軟な探究ができるような有機的カリキュラムが提供されている。

3. 学生は、3年次より各研究室に配属される。多様な横断的、専門的科目群の履修を通じて先鋭化された各々の興味・関心に沿い、「表現すること」を通じて、あるいは「表現することの意味」や「表現する行為そのもの」、「表現されたもの」の探究を通じて、人間表現に関わる卒業研究に取り組んでいく。また、学科必修科目として設定された「人間の発達と表現演習」において、学生による研究の相互理解を深めるとともに、個々の研究課題に即した問題解決能力を養うことによって質の高い卒業研究の達成を目指す。

4. 以上のような観点とカリキュラムをもとに、学生・教員同士のコミュニケーションを通じて、主体的な学びの促進を図ると同時に、人間表現に関する専門的知見と問題解決能力を備えた自律的な人材を養成する。

### ・人間環境学科

1. 人間環境学科は、人間発達のあり方に関わる環境の諸問題を、自然科学・人文社会科学の枠、従来の分断された学問領域を超えて総合的に追究しうる能力を育てること目標としている。学生は、1年次に学科単位で人間環境に関わる基礎的な知識を広く修得する。2年次に4つのコース（自然環境論、数理情報環境論、生活環境論、社会環境論）に振り分けられ、主としてコース単位で学習を進める。3年次以降ゼミに配属され、さらに少人数教育のなかで研究をより深めるとともに、学んできた知識を再び人間環境学として統合する。4年次には指導教員の下で、各人のテーマに基づく卒業研究に取り組む。

2. 学生は以下のカリキュラム構成の中で学習を深めてゆく。1年次に学科共通科目を履修し人間環境学科の概要的知識を得る。また、4つのコースに関わる研究基礎（概論）を学ぶ。2年次より所属各コースに応じた専門科目を学ぶだけでなく、人間環境研究の実践的手法について修得する。3年次にはより細分化された専門性を磨くと同時に、人間環境

学として知見を再度統合するために学科共通科目を履修する。こうした過程をへたうえで創造的研究の総括として4年次に卒業研究を仕上げる。

3. 以上のカリキュラムを通じて、学生は人間発達に関連する諸環境につき、従来の視野にとらわれない幅広い知見を身につける。同時に、人間環境学は新しい問題設定領域であるため、学生には主体的創造的な知的作業が求められ、その過程を通じて学問上のみならず実社会においても要求される問題解決能力が涵養される。

### ・発達支援論コース

1. ヒューマン・コミュニティ創成研究センターの5部門（労働・成人教育支援，子ども・家庭支援，ジェンダー研究・学習支援，障害共生支援，ボランティア社会・学習支援）で実施されているアクションリサーチ（実践的研究）への参加を通して、多層多元的な社会セクター（NPO・NGO，企業，行政など）との連携や複数の学術領域の横断的つながりの重要性を理解し体現しえる「新しいタイプのジェネラリスト」の養成をねらいとする。

2. 学生は、一定の履修要件を満たしたのち、3年次進学時において学部内のどの学科からも編入することが可能である。2年次までに培った本学部の他コースの専門的知見を基礎に置きながら、その応用・発展を実践フィールドにおいて体験する。実際の場面において生じるさまざまな課題を発見・考究するとともに、その解決に資する理論や実践的方策を身につけてゆく。

3. 学生は、原則として、本コースが開講する演習のうち、少なくとも2つを履修する。領域の異なるフィールドへの参加を経験することによって、実践の内容・手法の異同を確認し、多様な支援の技法・原理を修得する。演習では、フィールドワークだけではなく、実践に関する文献の購読・討議，ワークショップ形式による企画創成やリフレクションなどを行い、学生の主体的な学習を支援する。

4. 発達科学部の多様な授業リソースを最大限に活用できるようにするために、コース固有の授業のしぼりをできるだけ少なくしている。指導教員や副指導教員体制（他コース教員も含む）と相談しながら、学生は、他コース開講科目を含む多様な授業科目の中から学習目標に適合した授業を選択し、各自のカリキュラムを作成する。卒業研究では、こうした学科横断的かつ臨場的な研究コミュニティのなかで、「仮説の構築→実践→省察→新たな知見の発見・新しい実践の創出」というサイクルに基づいた実践的研究の成果をまとめる。

#### ☆支援論コース開講科目

2年後期

発達支援論研究

3年前期

発達支援論演習（子ども・家庭支援論）

発達支援論演習（労働・成人教育支援論）

発達支援論演習（ヘルスプロモーション論）

発達支援論演習（ジェンダー研究・学習支援論）

発達支援論演習（障害共生支援論）

発達支援論演習（ボランティア社会・学習支援論）

3年後期

発達支援研究法

4年

卒業研究

○発達科学部 カリキュラム・ポリシー

人間形成学科

学習目標		1年次		2年次		3年次		4年次		
		前期(1Q・2Q)	後期(3Q・4Q)	前期(1Q・2Q)	後期(3Q・4Q)	前期(1Q・2Q)	後期(3Q・4Q)	前期(1Q・2Q)	後期(3Q・4Q)	
たすべ か な の 教 養 と 分 野 に 共 通 し	豊かな教養と専門性の基礎となる幅広い知識	基礎教養科目(2Q) 総合教養科目(2Q) 初年次セミナー(1Q)	基礎教養科目(3Q・4Q) 総合教養科目(3Q・4Q)	基礎教養科目(1Q・2Q) 総合教養科目(1Q・2Q)	基礎教養科目(3Q・4Q) 総合教養科目(3Q・4Q) 高度教養科目	高度教養科目	高度教養科目	高度教養科目	高度教養科目	
	優れたコミュニケーション能力とグローバルな観点から思考する能力	外国語第Ⅰ 外国語第Ⅱ	外国語第Ⅰ 外国語第Ⅱ	外国語第Ⅰ 外国語第Ⅱ 外国語第Ⅲ	外国語第Ⅰ 外国語第Ⅲ					
	情報科学の基礎に関する知識とその利用に関する規範	情報基礎(1Q)								
	健康とスポーツに関する豊かな知識と実践能力	健康・スポーツ科学(1Q・2Q)	健康・スポーツ科学(3Q・4Q)							
基 礎 領 域	人間の発達及びそれを取り巻く環境に関する諸科学への関心と問題意識をもつ	発達科学への招待(2Q)								
	人間形成に関する基礎知識	心理学入門 子ども発達論 教育学概論	発達心理学概論 子ども教育論		道徳教育論					
	人間形成の発達の理解に関する専門知識	異文化教育論	教育心理学 臨床心理学	児童心理学 発達障害心理学1 発達障害臨床学1 相談心理学	乳幼児発達論 青年心理学 児童青年精神医学 認知発達論	カウンセリング 人間形成学特講	幼児精神衛生論			
	人間形成の社会・文化に関する専門知識	生涯学習論	教育ディベート入門 教職論	算数教育論 音楽表現発達論 造形表現発達論 児童言語教育論 教育制度概説 教育人間学	初等体育論 初等社会科教育論 発達支援論研究	情報化社会と教育	科学技術社会と教育			
	心 理 発 達 に 関 する 専 門 領 域	発達心理学に関する専門知識			心理学研究法1A 外書講読 心理統計法1	心理学研究法1B 心理統計法2				
		臨床心理学・障害児者心理学に関する専門知識			外書講読 心理検査法1		心理検査法2	心理検査法3		
	子 ど も 発 達 に 関 する 専 門 領 域	子どもの心身の発達と教育に関する専門知識			子どもの発達 子どもの心と教育 子どものからだづくり 人間関係発達論	子どもの認識 子どもの発達支援				
		子どもを取り巻く文化や環境に関する専門知識			子どもの表現	子どもと生活 子どもの表現教育 子どもとメディア 教育制度	児童福祉論 子ども社会論			
	教 育 科 学 に 関 する 専 門 領 域	教育の原理的探究に関する専門知識			日本教育史 教育政策 教育方法学 教育哲学	教育思想史 教育制度 教育行政学	教育法 教師教育史論			
		教育の実践的展開に関する専門知識			学習指導論 カリキュラム論 社会教育論 授業デザイン論 社会科教育方法論 子どもの表現	科学教育論 社会教育計画論 異言語指導論	生活指導論	造形発達論 幼児造形表現指導法		
学 校 教 育 に 関 する 専 門 領 域	学校教育の原理に関する専門知識			教育政策 教育方法学 教育哲学 特別支援教育総論	教育思想史 学習障害等教育総論 発達障害心理学2 教育行政学	教育法 教師教育史論				
	学校教育の実践に関する専門知識			学習指導論 カリキュラム論 授業デザイン論 社会科教育方法論 自然教育論	発達障害臨床学2 障害児発達学 異言語指導論	生活指導論 幼児教育内容論	初等家政学概論 家庭科教育方法論 特別支援教育学 児童文学論			

問題解決能力	心理発達に関する問題解決能力	発達心理学に関する知識を活用してことと行動について理解し、発達支援をおこなう能力		人間関係発達論	教育発達心理学 科学教育論	生涯発達心理学 人格形成論 子ども社会論				
		臨床心理学・障害児者心理学に関する知識を活用してことと行動の病理・障害について理解し、支援する能力			深層心理学 障害児発達学 発達障害心理学2 発達障害臨床学2		障害児指導学			
		心理発達に関する問題を総合的にとらえ解決する能力				心理学研究法2A 心理発達論演習A 心理発達論演習B	心理学研究法2B 心理発達論演習C 知的障害の心理・生理・病理演習	卒業研究 心理学研究法3A 心理学研究法3B		
	子ども発達に関する問題解決能力	子どもの心身の発達に関する知識を活用して子どもに関する問題を解決する能力					乳幼児認知発達論 子どもスポーツ論 健康行動科学	数理認識発達論		
		子どもを取り巻く文化や環境に関する知識を活用して子どもに関する問題を解決する能力				異言語指導論	美術教育史論	幼年音楽論 造形発達論 児童文学論		
		子ども発達に関する問題を総合的にとらえ解決する能力			心理統計法1	心理統計法2	子ども発達論演習1	外書講読 子ども発達論演習2	卒業研究 子ども発達研究法1 子ども発達研究法2	
	教育科学に関する問題解決能力	教育の原理に関する知識を活用して教育本質を追究する能力			教育学研究法1 教育学研究法3	教育学研究法2 教育学研究法4		外書講読		
		教育の実践に関する知識を活用して現代課題を追究する能力			教育学研究法5 教育学研究法7	教育学研究法6 教育学研究法8				
		教育科学に関する問題を総合的にとらえ解決する能力					教育科学論演習1	教育科学論演習2	卒業研究 教育科学研究1 教育科学研究2	
	学校教育に関する問題解決能力	学校教育の原理と実際に関する知識を活用して実践する能力			幼児環境指導法 音楽表現教育方法論 生活科教育方法論	幼児人間関係指導法 国語教育方法論 造形表現教育方法論 特別活動指導法	幼児音楽表現指導法 運動教育方法論 算数教育方法論 視覚障害児発達学	障害児指導学 理科教育方法論 幼児造形表現指導法		
		学校教育に関する問題を総合的にとらえ解決する能力					教育科学論演習1 子ども発達論演習1	学校教育資料調査法 教育科学論演習2 子ども発達論演習2	卒業研究 教育科学研究1 教育科学研究2 子ども発達研究法1 子ども発達研究法2	
	人間と環境に関する現代的問題を解決する能力	ESD基礎	(ESD論)				ESD演習 I (環境発達学)	ESD演習 II (環境発達学)	ESD実践論	

○発達科学部 カリキュラム・ポリシー

人間行動学科

学習目標		1年次		2年次		3年次		4年次	
		前期(1Q・2Q)	後期(3Q・4Q)	前期(1Q・2Q)	後期(3Q・4Q)	前期(1Q・2Q)	後期(3Q・4Q)	前期(1Q・2Q)	後期(3Q・4Q)
すべての豊かな専門分野に共通知識	豊かな教養と専門性の基礎となる幅広い知識	基礎教養科目(2Q) 総合教養科目(2Q) 初年次セミナー(1Q)	基礎教養科目(3Q4Q) 総合教養科目(3Q4Q)	基礎教養科目(1Q2Q) 総合教養科目(1Q2Q)	基礎教養科目(3Q4Q) 総合教養科目(3Q4Q) 高度教養科目	高度教養科目	高度教養科目	高度教養科目	高度教養科目
	優れたコミュニケーション能力とグローバルな観点から思考する能力	外国語第Ⅰ 外国語第Ⅱ	外国語第Ⅰ 外国語第Ⅱ	外国語第Ⅰ 外国語第Ⅱ 外国語第Ⅲ	外国語第Ⅰ 外国語第Ⅲ				
	情報科学の基礎に関する知識とその利用に関する規範	情報基礎(1Q)							
	健康とスポーツに関する豊かな知識と実践能力	健康・スポーツ科学(1Q2Q)	健康・スポーツ科学(3Q4Q)						
専門的知識	基礎領域	人間の発達及びそれを支える環境に関する諸科学への関心と問題意識をもつ	発達科学への招待(2Q)						
		人間行動に関する基礎知識	健康発達概論 行動発達概論 身体行動概論	人体構造機能論 身体機能加齢論 身体運動のしくみ からだの構造と運動					
	専門領域	人間行動に関する学問的興味を深化させる専門知識	健康管理論 社会調査法 エイジング論 生涯スポーツ論	健康教育論 健康評価論 身体文化論	発達支援論研究	身体運動発達論 人間行動特論A 人間行動特論B			
	健康専門領域	現代の健康問題に関する専門的知識			公衆衛生学 安全行動・管理論 身体運動システム論 衣環境学1	予防医学概説 栄養学	健康行動科学		
		ヘルスプロモーションに関する専門的知識			国際健康開発論	ヘルスプロモーション論 高齢者保健福祉論		健康政策論 健康環境論	
	行動発達領域	適応能力に関する専門的知識			行動適応論 運動処方論 身体運動システム論	身体適応論 運動心理学 身体運動制御論 栄養学 ヘルスプロモーション論 臨床心理学	健康行動科学	健康政策論	
		発達と加齢に関する専門的知識			エイジング研究	スポーツプロモーション論 予防医学概説 乳幼児発達論			
	身体行動領域	身体行動に関する自然科学系学問領域の知識			身体運動技術論 運動処方論 身体運動システム論	体力科学論 身体適応論 身体運動制御論	子どものからだづくり		
		身体行動に関する人文・社会科学系学問領域の知識			スポーツ社会学	体育・スポーツ史 スポーツプロモーション論 運動心理学	スポーツマネジメント論 健康行動科学		
	問題解決能力	力健康発達に関する科学的な研究能力	健康発達に関する科学的な研究能力			健康統計学		応用統計学A	健康発達研究法
健康科学に基づいた実践的能力					救急医療概説 人間関係発達論 生活環境共生論1	臨床心理学 認知発達論 子どもの発達支援 生活環境心理学	カウンセリング		卒業研究 健康行動科学演習Ⅱ 健康増進科学演習Ⅱ 健康政策論演習Ⅱ 健康環境論演習Ⅱ ヘルスプロモーション論演習Ⅱ
行動発達に関する問題解決能力		行動発達に関する科学的な研究能力			行動発達研究法		エイジング論演習1 身体機能加齢論演習1 身体適応論演習1 アクティブエイジング研究演習1 行動適応論演習1	バイオメカニクス実験	卒業研究
	行動科学に基づいた実践的能力						エイジング論演習2 身体機能加齢論演習2 身体適応論演習2 アクティブエイジング研究演習2 行動適応論演習2		
	行動発達に関する問題を総合的にとらえ解決する能力							行動発達演習1	行動発達演習2

身体行動に関する問題解決能力	スポーツ科学に基づいた身体運動の実践・運営能力			陸上運動方法論 水泳系運動方法論 野外運動方法論		武道系運動方法論 舞踊運動方法論 体操運動方法論	球技運動方法論		
	身体行動に関する科学的な研究能力					運動生理学実験 体育・スポーツ史研究法 スポーツ社会学研究法 運動心理学研究法	バイオメカニクス実験 体育・スポーツ史演習 スポーツ社会学演習 運動心理学演習 身体運動技術論演習 身体運動制御論演習 運動処方論演習 体力科学論演習 身体運動システム論演習	卒業研究	
人間と環境に関する現代的問題を解決する能力		異文化理解	ESD演習Ⅰ(環境発達学)	ESD演習Ⅱ(環境発達学)			ESD実践論		

○発達科学部 カリキュラム・ポリシー

人間表現学科

学習目標		1年次		2年次		3年次		4年次	
		前期(1Q・2Q)	後期(3Q・4Q)	前期(1Q・2Q)	後期(3Q・4Q)	前期(1Q・2Q)	後期(3Q・4Q)	前期(1Q・2Q)	後期(3Q・4Q)
たすべ たか かなの 専 門 と 分 野 に 共 知 通 し	豊かな教養と専門性の基礎となる幅広い知識	基礎教養科目(2Q) 総合教養科目(2Q) 初年次セミナー(1Q)	基礎教養科目(3Q・4Q) 総合教養科目(3Q・4Q)	基礎教養科目(1Q・2Q) 総合教養科目(1Q・2Q)	基礎教養科目(3Q・4Q) 総合教養科目(3Q・4Q) 高度教養科目	高度教養科目	高度教養科目	高度教養科目	高度教養科目
	優れたコミュニケーション能力とグローバルな観点から思考する能力	外国語第Ⅰ 外国語第Ⅱ	外国語第Ⅰ 外国語第Ⅱ	外国語第Ⅰ 外国語第Ⅱ 外国語第Ⅲ	外国語第Ⅰ 外国語第Ⅲ				
	情報科学の基礎に関する知識とその利用に関する規範	情報基礎(1Q)							
	健康とスポーツに関する豊かな知識と実践能力	健康・スポーツ科学(1Q・2Q)	健康・スポーツ科学(3Q・4Q)						
基礎 領 域	人間の発達及びそれを取り巻く環境に関する諸科学への関心と問題意識をもつ	発達科学への招待(2Q)							
	人間表現に関する基礎知識	人間表現概論1	人間表現概論2						
	文化・芸術研究に関する専門知識	サブカルチャー論	資料調査法 声の表現	場所の文化史 感性表現論1	表象文化論 図学	表現の政治学 舞台芸術論	メディア論		
専 門 横 断 領 域	文化・芸術実践に関する専門知識	創造の発想とプロセスA サウンドデザイン	創造の発想とプロセスB	身体表現論 人と音楽					
	文化・芸術促進に関する専門知識	心理学入門 生涯学習論	遊びと芸術	音楽療法論1 子どもの表現	発達支援論研究	表現ワークショップ論	アートマネジメント		
	表現の歴史や社会との関わりに関する専門知識			西洋音楽文化論 音楽作品研究1	都市と建築の20世紀 音楽民族学 デザイン史	ファッション文化論 映像論			
専 門 的 知 識	人間表現に関する専門知識		先端表現演習	音楽集団活動論 舞踊創造論 声楽表現演習1	立体造形論 絵画表現論	音楽療法論2			
	表現の歴史を学び、理解・解釈する能力				西洋音楽文化論演習 音楽作品研究2	都市と建築の20世紀演習 感性表現論2	立体投象論 感性表現論演習	ファッション文化論演習 映像・メディア論演習	
	人間の表現を社会の中で生かす能力			立体造形 絵画表現 先端造形演習	ピアノ演奏演習1 舞踊表現 合唱表現演習	ピアノ演奏演習2 合奏表現演習 声楽表現演習2	室内楽 ダンスセラピー 音楽療法論演習 合唱表現演習		
人間表現に関する問題を総合的にとらえ解決する能力				表現創造演習(企画)	表現創造演習(総合) 人間の発達と表現演習1	人間の発達と表現演習2	卒業研究		
人間と環境に関する現代的問題を解決する能力	ESD基礎	(ESD論)			ESD演習Ⅰ(環境 発達学)	ESD演習Ⅱ(環境 発達学)	ESD実践論		

○発達科学部 カリキュラム・ポリシー

人間環境学科

学習目標		1年次		2年次		3年次		4年次	
		前期(1Q・2Q)	後期(3Q・4Q)	前期(1Q・2Q)	後期(3Q・4Q)	前期(1Q・2Q)	後期(3Q・4Q)	前期(1Q・2Q)	後期(3Q・4Q)
たす豊かな専養門と分野に共通知識	豊かな教養と専門性の基礎となる幅広い知識	基礎教養科目(2Q) 総合教養科目(2Q) 初年次セミナー(1Q)	基礎教養科目(3Q4Q) 総合教養科目(3Q4Q)	基礎教養科目(1Q2Q) 総合教養科目(1Q2Q)	基礎教養科目(3Q4Q) 総合教養科目(3Q4Q) 高度教養科目	高度教養科目	高度教養科目	高度教養科目	高度教養科目
	優れたコミュニケーション能力とグローバルな観点から思考する能力	外国語第Ⅰ 外国語第Ⅱ	外国語第Ⅰ 外国語第Ⅱ	外国語第Ⅰ 外国語第Ⅱ 外国語第Ⅲ	外国語第Ⅰ 外国語第Ⅲ				
	情報科学の基礎に関する知識とその利用に関する規範	情報基礎(1Q)							
	健康とスポーツに関する豊かな知識と実践能力	健康・スポーツ科学(1Q2Q)	健康・スポーツ科学(3Q4Q)						
基礎領域	人間の発達及びそれを取り巻く環境に関する諸科学への関心と問題意識をもつ	発達科学への招待(2Q)							
	人間環境に関する基礎知識	人間環境学概論	自然環境概論 数理情報環境概論 生活環境概論 社会環境概論						
	専門基礎	物理学入門 力学基礎1 力学基礎2  基礎無機化学1 基礎無機化学2 生物学概論A1 生物学概論A2  基礎地学1 基礎地学2 線形代数1 線形代数2 線形代数入門1 線形代数入門2 微分積分1 微分積分2 経済学 政治学 倫理学	連続体力学基礎 熱力学基礎 電磁気学基礎1 電磁気学基礎2 基礎有機化学1 基礎有機化学2 生物学各論A1 生物学各論A2 生物学各論C1 生物学各論C2	量子力学基礎 相対論基礎 物理学実験					
断領域横	人間環境に関する実践的専門知識		統計の考え方	発達支援論研究 環境モデリング入門	高齢者環境論		エコロジー論		
専門的知識	自然科学に関する専門知識		現代物質科学  数理の基礎 鉱物学	現代物理化学A  現代生命科学A 生物多様性論 宇宙史  解析系の基礎 数理統計の基礎	現代物理化学B 化学反応論 無機化学  現代生命科学B 環境遺伝学 地球流体力学 科学哲学論 応用解析学A 応用解析学B 応用統計学A 応用統計学B	量子物理学 量子化学 分析化学 環境有機化学 生物有機化学 高次分子生命科学 動物行動生態学 基本粒子物理学  情報環境科学A 情報環境科学B 情報環境科学C	応用解析学A 応用解析学B 応用統計学A 応用統計学B		
	環境科学に関する専門知識		環境計測学A 自然環境科学 環境地球科学A 大気環境学  自然環境科学特論A  植物環境学1	環境計測学B 環境地球科学B  自然環境科学特論B  植物環境学2 生活環境緑化論1	環境植物生態学 地球環境科学特別講義A  宇宙環境物理学  環境経済学 公衆衛生学 生活環境緑化論2	環境物理学 生物環境科学 地球環境科学特別講義B  身体適応論			

数 理 情 報 環 境 に 関 する 専 門 領 域	数理学及び情報科学に関する専門知識			数理の基礎 計算機科学A 計算機科学B	幾何系の基礎 解析系の基礎 代数系の基礎 数理統計の基礎	応用代数学 数理と論証 計算機数学 応用解析学A 応用解析学B 応用幾何学A 応用幾何学B 応用統計学A 応用統計学B 応用統計学C 解析学III	代数学II 幾何学III 確率論I	応用解析学A 応用解析学B 応用幾何学A 応用幾何学B 応用統計学A 応用統計学B	
	数理学及び情報科学の知見の活用 の場を拓げるための 専門知識			生活環境電子計測論1	生活環境メカニクス1 社会調査法	環境経済学 生命情報科学A 生命情報科学B	数理認識発達論 メディア論	生命情報科学A 生命情報科学B	
生 活 環 境 に 関 する 専 門 領 域	生活空間に関する 専門的知識			生活空間計画論1	生活空間計画論2 生活環境心理学 生活環境緑化論1	生活環境緑化論2			
	生活技術に関する 専門的知識			衣環境学1 生活環境電子計測論1	衣環境学2 生活環境メカニクス1 生活環境電子計測論2	生活電気・機械	生活環境メカニクス2 生活エネルギー機器論		
	生活資源に関する 専門的知識			食環境学1 食環境学2 植物環境学1 生活環境共生論1 ライフスタイル論1	栄養学 植物環境学2 生活環境共生論2 ライフスタイル論2				
社 会 環 境 に 関 する 専 門 領 域	社会環境分析に 関する専門知識			社会文化環境論 社会規範論A 産業社会環境論A 地域社会環境論A	社会規範論B 産業社会環境論B 地域社会環境論B 国際社会環境論				
	社会環境実践に 関する専門知識			労働史 コミュニティ論 現代日本社会史	社会環境思想史 社会変動史 産業構造論 国際平和論 地域空間システム論	社会政策史 農村開発論 憲法秩序論	都市地域論 福祉国家論 フィールドワーク実習		
自 然 環 境 に 関 する 問 題 解 決 能 力	自然科学・環境科学 に関する知識を活用 して実験・野外調査 などによって自然現象・ 環境問題を分析・検討 する能力			自然環境科学実験B (主として生物学)	自然環境科学実験A (主として地学)  自然環境科学実験C (主として化学)	物質環境科学実験  地球環境科学実験 野外生物学実習	環境物理学実験  生物環境科学実験 分子生命科学実習		
	自然科学・環境科学 に関する知識を活用 して文献調査、理論 的考察や数値解析 などによって自然現象・ 環境問題を分析・検討 する能力			応用数学入門・同演習 情報処理演習	環境数値解析1	環境数値解析2 生命情報科学A 環境地球化学・ 同演習A	環境物理学特別演習  環境地質学・同演習1 環境地質学・同演習2	現代物質科学演習 生命情報科学B 環境地球化学・ 同演習B	
	自然環境に関する 問題を総合的にと らえ解決する能力	自然科学演習	自然科学総合演習	自然環境総合演習	人間環境学総合演習			卒業研究	
数 理 情 報 環 境 に 関 する 問 題 解 決 能 力	数理学及び情報科学 に関する知識を実践的に 問題解決に活用する 能力				数理と計算機		数理情報先端特論 情報環境科学A 情報環境科学B 情報環境科学C		
	数理学及び情報科学に 関する知識を問題解決に 活用する可能性を創造的 に探る能力					ヒューマンエレクト ロニクス実験		生活環境 メカニクス実験	
	数理情報環境に 関する問題を総合的に とらえ解決する能力						応用数理特論1 情報環境特論1	卒業研究 応用数理特論2 情報環境特論2 応用数理特論3 情報環境特論3	
問 題 解 決 能 力	生活環境の在り方を 都市、緑地、福祉施設 などの空間からの とらえ、分析・創出す る能力・技術					住宅設計論			
	衣食住と健康福祉のた めの生活用品・機器に おける技術やその利用 方法について分析・創 出する能力・技術					衣環境学実験 ヒューマンエレクト ロニクス実験		生活環境 メカニクス実験	
	生活のための資源 利用、保全、管理を 考え、分析・創出す る能力・技術					食環境学実験 植物環境学実験実習 生活環境共生論実習 ライフスタイル論実習	食環境学実習 生活環境共生論演習 ライフスタイル論演習		
	生活環境に関する 問題を総合的にと らえ解決する能力			生活環境調査法 現代生活論	生活環境基礎実験	生活環境心理学演習 動作解析コンピュータ演習 環境経済学	生活環境緑化論演習 衣環境学演習 植物環境学演習	生活空間計画論演習	卒業研究

社会環境に関する問題解決能力	社会環境に関する知識を活用して現代社会を検討・考察する能力			生活空間計画論1 現代生活論	生活空間計画論2 生活環境心理学 生活環境緑化論1 社会調査法 教育思想史	家族論 国際開発論 環境経済学 生活環境緑化論2 環境植物生態学 数理と論証	公共性論 自治体論 メディア論		
	社会環境に関する知識を活用して実践的課題を分析・解明する能力					公共性論演習A 社会環境思想史演習A 社会文化環境論演習A 産業構造論演習A 労働史演習A 都市地域論演習A コミュニティ論演習A 国際開発論演習A	公共性論演習B 社会環境思想史演習B 社会文化環境論演習B 産業構造論演習B 労働史演習B 都市地域論演習B コミュニティ論演習B 国際開発論演習B		
	社会環境に関する問題を総合的にとらえ解決する能力								卒業研究
人間と環境に関する現代的問題を解決する能力				ESD演習 I (環境発達学)	ESD演習 II (環境発達学)		ESD実践論		